

LPガス
人と地球にスマイルを

ちば炎の仲間

発行

公益社団法人千葉県LPガス協会広報委員会
〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
TEL 043-246-1725
FAX 043-243-6781
E-mail: chibalg@chibalg.or.jp
https://www.chibalg.or.jp
毎月10日は保安の日

第5回(臨時)理事会 開催！

当協会では、去る1月9日(金)に令和7年度第5回理事会をWEB形式併用で開催しました。第5回理事会は第5次千葉県LPガス料金負担軽減支援事業に対応するため臨時に開催したものです。

議題1 第5次千葉県LPガス料金負担軽減支援事業について(審議事項)
(第4次との変更点)

変更部分	変更内容
(1) 支援金(値引き額)	一般消費者等1契約につき、 最大1,500円(税抜) 。 ※LPガス料金以外は、対象外です。 (例) 値引き対象外…設備料金、延滞料金、灯油など。 ※請求料金(設備料金を除く)が500円(税抜)/月の場合、 値引き額は500円(税抜)/月
(2) 販売事業者への協力金	1事業者あたり 固定協力金97,500円 とし、 値引きを実施した 契約数に20円を乗じた額 を加算。
(3) 値引き対象月	令和8年 3月又は4月 検針分のうち、いずれか 1ヶ月 。 ※実施月が選択可能です。

<支援事業の流れ>

①交付申請:

・書類提出…「交付申請書(様式1)」と「内訳書」を協会に提出(各種書類は、専用HPでダウンロード可)

・提出期限…**令和8年2月4日(水)～3月3日(火)まで(必着)**

※提出が遅れる場合は、事前に要相談。

②交付決定:

・交付決定通知書(様式2)を協会から販売事業者へ通知(送付)

※値引きは、交付決定後に実施すること。

※交付決定後は、値引きする旨を自社のホームページや電子メール、チラシなどを用いて、一般消費者等へ周知をお願いします。

※仮に、交付決定額を上回るなど、変更が生じた場合、計画変更申請(様式3)等の提出が必要。

小倉晴夫氏 旭日雙光章受章を祝う会

令和7年春の叙勲において旭日雙光章を受章した当協会の「小倉晴夫会長の受章を祝う会」が、当協会副会長の鶴沢氏と卸売支部支部長の笹田氏と自動車支部支部長の泉水氏が発起人となり、令和7年11月21日に京成ホテルミラマーレにおいて140名の方々が出席して盛大に開催されました。

式典の部では、以下の方々よりご祝辞がありました。

- 一般社団法人全国LPガス協会副会長 兼
一般社団法人新潟県LPガス協会会長 菅井裕人 様
- 衆議院議員 松野博一 様
- 参議院議員 石井準一 様
- 千葉県議会議員 伊藤昌弘 様
- 千葉県防災危機管理部産業保安課課長 新井洋 様

小倉晴夫氏 旭日雙光章受章を祝う会



奥(左から): 泉水氏、鶴沢氏、笹田氏

手前: 小倉会長と令夫人

その後、参加者を代表して鶴沢副会長から小倉会長へ記念品の贈呈があり、またご家族代表してお孫様達からと協会からの花束の贈呈がありました。

また、小倉会長から関係各所への謝辞があり、今後の業界発展と協会隆盛に向けて日々邁進する所存であることの意気込みが述べられました。

その後の祝宴の部は、一般社団法人東京都LPガス協会の尾崎義美会長の乾杯のご発声で始まり、会場はジャズミュージック生演奏によってアットホームにそして華やかな雰囲気包まれた中で懇親の時間が流れました。

中締めは、池田副会長の「万歳三唱」で和やかに閉会となりました。

業界最新情報は協会ホームページから！

お知らせコーナー 千葉県防災危機管理部産業保安課 保安対策室



日頃から液化石油ガス保安行政の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

県からの連絡事項は次のとおりです。

2025年の液化石油ガス事故情報(速報)について

1. 液化石油ガス一般消費者等の災害事故

県内で発生した液化石油ガスの災害事故は13件で、前年より7件減少しました。また、死傷者については、死者、負傷者ともに0名でした。事故原因の内訳は、消費者の不注意1件、設備不良4件、他工事業者の不注意5件、不明3件であり、その事故の内容は以下のとおりです。

【消費者不注意】

- ・一般消費者が転んだ際にガスメーターを損傷させたことによる漏えい事故

【設備不良】

- ・露出配管(消費配管)の継手部の腐食・劣化による漏えい火災事故
- ・露出配管(消費配管)の本管の腐食・劣化による漏えい事故
- ・露出配管(供給配管)の継手部の腐食・劣化による漏えい事故
- ・埋設配管(消費配管)の本管の腐食・劣化による漏えい事故

【他工事業者の不注意】

- ・他工事業者がLPガス配管に気が付かず損傷させたことによる漏えい事故(5件)

【不明】

- ・何らかの原因で金属フレキ管が損傷したことによる漏えい事故
- ・何らかの原因で埋設配管(消費配管)の本管から漏えいしたことによる漏えい事故
- ・何らかの原因で電磁弁から漏えいしたことによる漏えい事故

各販売事業者におかれましては、引き続き、一般消費者等に対してガス使用時の注意事項の周知を行うとともに、供給設備点検・消費設備調査等による設備の管理を徹底するなど、従来以上に事故の未然防止に努めてくださいますようお願いいたします。

2. 液化石油ガス容器の喪失・盗難事故

県内での液化石油ガス容器の喪失・盗難事故は7件(盗難4)でした。現在、高圧ホースを切断して持ち去るなど、悪質な案件が発生しています。販売店・保安機関におかれましては、空き家の容器は速やかに撤去することや、引き続き巡回、顧客への注意喚起を強化していただく等の対策をお願いします。

3. 液化石油ガス販売所等立入検査時の注意点について

千葉県が、液化石油ガス販売事業者に対して行う立入検査においては、下記の事項について指摘等が多くなっています。

【立入検査における対応について】

- ・立入検査事前確認書を、立入検査日の5日前までにファクスで送付してください。
- ・県から事前に通知している「液化石油ガス販売事業者等立入検査の実施について」の別添に記載されている必要書類を確認し、検査当日に速やかに提示できるよう準備してください。(※保安業務の委託契約書等)
- ・保安業務用機器が適切に作動する状態か、立入検査日前までに確認してください。

【指摘の多い事項】

(1) 販売業務

- ・警戒標の内容不備、不鮮明
- ・委託先保安機関の変更に伴う液化石油ガス販売所等変更届書の未提出
- ・消火設備の不備、不足
- ・請求書への料金算出根拠の記載が不適切

(2) 保安業務

- ・点検調査項目等で一部記入漏れ
- ・定期供給設備点検・定期消費設備調査の遅れ、未実施
- ・周知の記録の未保存

(3) 特定液化石油ガス設備工事事業

- ・自記圧力計の精度の未校正
- ・変更、廃止、承継等に伴う届書の未提出
- ・工事記録・配管図面等の未保存

(4) その他

- ・販売及び保安業務における実施報告の未提出

各販売店におかれましては、上記の注意・指摘事項を今一度御確認いただき、立入検査をより円滑に実施できるよう、御協力いただきますようお願いいたします。

また、令和7年4月2日に施行された法改正に伴い、三部料金制への対応状況及び、過大な営業行為の有無についても、立入検査の確認項目としていますので、これらの対応についても、併せて御協力ください。

「学校体育館(避難所)へのLPガスGHP設置推進」の取組みを実施！

今年度の協会活動における重点取組みの「学校体育館(避難所)へのLPガスGHP設置推進」として令和7年12月3日に千葉県庁内会議室において千葉県教育委員会と千葉県防災危機管理部へ「公立学校へのLPガスGHPの設置に関する要望書」の提出をいたしました。

この要望書については、自民党千葉県議会議員会LPガス対策議員連盟(以下LPガス対策議員連盟と呼称)様の絶大なるご支援があつて実現したものです。

また要望書提出後、LPガス対策議員連盟加入議員の皆様(22名)に対して、要望書に沿った内容でLPガスの特徴と、災害時の避難所における機能として”災害対応バルクと電源自立型LPガスGHP”の組み合わせが最強の設備だという主旨の勉強会を開催していただきました。

この要望書提出と勉強会には、協会として小倉会長をはじめ秋元・池田両副会長と大入専務理事が出席され、LPガス対策議員連盟は会長の伊藤昌弘議員をはじめ21名の議員の皆様が、そして千葉県教育委員会から教育長の杉野可愛様他2名と防災危機管理部からは部長の青柳徹様他2名の皆様のご出席をいただいております。

質疑応答の際には、議員の皆様や県関係者の皆様から、県施設だけでなく市町村施設へも推進していくべきとの積極的なご意見があり充実した内容で開催されました。

※勉強会で使用した資料は、当協会ホームページの活動便りページに掲載しておりますので、是非ご覧下さい。



【左から：杉野教育長、青柳部長、小倉会長、伊藤議員】



【勉強会の様子】

学校体育館(避難所)における
LPガスGHPについて

公益社団法人 千葉県LPガス協会



青年委員会、「道の駅グリーンファーム館山」へベンチを寄贈しました！

令和7年12月17日(水)、「道の駅グリーンファーム館山」において、公益社団法人千葉県LPガス協会青年委員会によるベンチ寄贈を行いました。

本寄贈は、青年委員会が取り組む「廃棄ガスメーター回収運動」による収益金を活用した社会貢献活動の一環として実施したものです。

今年度の寄付先を検討するにあたり、青年委員会では昨年度よりカーボンニュートラルへの対応について議論を重ねてまいりました。その結果、施設の給湯やガス空調(ガスヒートポンプ〈GHP〉)にカーボンニュートラルLPガスを採用し、環境負荷低減に取り組んでいる「道の駅グリーンファーム館山」を寄付先として決定し、来場者の利便性向上を目的にベンチを寄贈することとしました。

「道の駅グリーンファーム館山」は、館山市の「食のまちづくり拠点施設」として、地域の農水産物の魅力発信と交流促進を担う施設です。

当日は、館山市長をはじめ関係者ご臨席のもと、目録の贈呈および感謝状の贈呈が行われました。寄贈したベンチは、道の駅を訪れる皆さまの憩いの場として活用される予定です。

今後も当協会青年委員会では、地域に根ざした社会貢献活動に積極的に取り組むとともに、LPガスの普及・PRに努めてまいります。

廃棄ガスメーター回収運動にご協力いただいている会員事業所の皆さまには、日頃より多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今後も青年委員会を中心に本運動を継続してまいりますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。



【小沢監査人(青年委員会)から森市長(館山市)へ目録贈呈】



【LPガス協会青年委員会と館山市長はじめ関係者で記念撮影】

「ホトギス、銚子は国のとっばずれ」

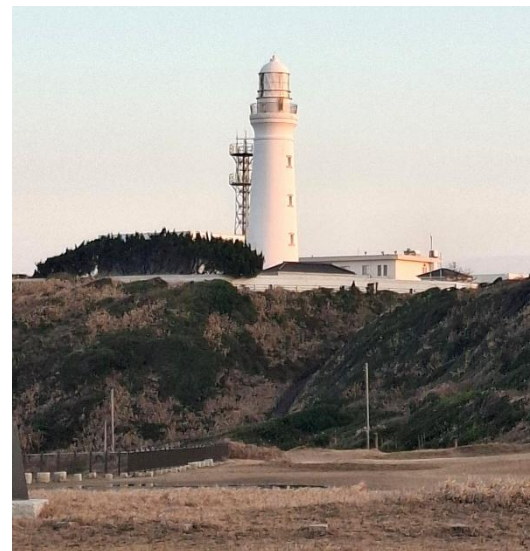
銚子支部 飯田博之 支部長

東京から直線距離で約100kmに位置する関東最東端の町が「銚子」です。三方を太平洋と利根川に囲まれ、海に突き出た半島地形をしています。日本一早い初日の出の場所として元旦には毎年多くの観光客が訪れています。黒潮と親潮が合流し、利根川からは豊富な栄養が流れ込む銚子の沖では大量のプランクトンが発生し多種多様な魚介類が集まる日本屈指の好漁場です。昨年は水揚げ量も日本一でした。銚子半島を最後に日本列島を離れて流れる黒潮のおかげで、銚子は一年中温暖で真冬でも雪が積もることがほとんどありません。そのため「灯台キャベツ」の愛称で親しまれているキャベツなど農業も盛んであります。また海に囲まれている影響か真夏でも他から来た人には「涼しいですね。」とよく言われます。こういった気候は醤油づくりにも非常に適しているといわれています。

「銚子」という地名は江戸時代後期から使われはじめたとされています。河口が狭くなっている利根川から太平洋に水が流れる様子が酒器の銚子の口から酒が流れる様子に似ていることから呼ばれるようになったらしいです。ちなみに居酒屋などで「お銚子

一本」と注文して提供される食器は「徳利(とっくり)」です。昔から野球が盛んで銚子商業は夏の甲子園で優勝も果たしました。最近注目を集めているのが経営危機を自虐ネタにした銚子電鉄(犬吠崖っぷちライン)や約300万年前の地層の屏風ヶ浦です。銚子電鉄は「ぬれ煎餅」や「まずい棒」など数々のヒット商品を世に送り出し映画製作など精力的に発信を行っています。

銚子市内には約2億年前の地層(犬岩、愛宕山など)をはじめ、恐竜が生きていた頃の約1億3千年前の地層(犬吠埼周辺)日本列島が大陸からわかれ始めた頃の約1700万年前の地層(夫婦ヶ鼻)など地球の歴史を体感できる場所が数多くあります。コロナ禍では風が強いからという理由でドライブ先として人気が上がったこともありましたが(笑)。久しぶりにドライブがてら足をのばしてみませんか？



令和7年度 千葉県高压ガス輸送車等防災訓練 実施！！

去る令和7年11月19日(水)、午後1時より、旧茂原市立西陵中学校グラウンド(茂原市緑ヶ丘1丁目53)に於いて、令和7年度高压ガス輸送車等防災訓練が実施されました。

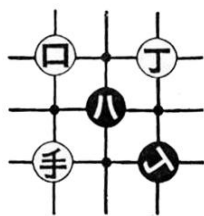
この訓練は、千葉県及び千葉県高压ガス地域防災協議会の主催で実施され、千葉県防災危機管理部長を本部長とし、各関係機関、関係団体及び事業所が参加しました。訓練では、高压ガス輸送車の移動中における事故等を想定した内容で実施されました。

当協会では、長夷支部の有限会社小川プロパン様、大多喜ガス株式会社様、大多喜液化ガス様、有限会社大地電気商会様の皆様にご協力を頂き、「LPガス・カートリッジ缶等の破裂燃焼実験」を実施しました。

当日、破裂燃焼時の爆発音等を体験した見学者にとっては、カートリッジ缶などの取扱いを間違えると大変危険なものだと体験できる実験となりました。長夷支部の皆様、ご協力ありがとうございました。



【カートリッジ缶の破裂により、LPガスはこのような燃え広がります！】



近年はペットブームですが、私の住む街は年配者が犬の散歩をしている姿をよく見かけます。子供は見ないけど犬は多ね、何て冗談もよく出ます。

私も昨年まで黒のポメラニアン体重2.3kgのメスを飼っていました。15歳の誕生日を迎えたころから腎臓の数値が悪くなり、腎臓病のフードを与え始めました。暫くして食欲が落ちたので、ドライフードから缶詰に切替えてからよく食べるようになりました。

それから1年位経過して病状が悪化したため、点滴治療をする事にしました。

歯槽膿漏も患っていたので、それが腎臓には良くなかったと後から知りました。口が小さく歯磨きが嫌いでよく噛まれたりしていたので、おろそかになっていましたが、もっと根気強く時間をかけてでも歯磨きするべきでした。その後、徐々に体力も落ち食欲も無かったので、病院の先生と相談して2日に1度点滴を打ちに病院に通う事になりました。ペット病院の数も増えましたが、人間同様混雑していて時間もかかります。健康保険ありませんので実費治療になり、エサも高いので大変でしたが、1日でも長く一緒に居たいとの思いで闘病生活を続けました。しかし、昨年の夏に私が休みの日の朝に、私の手の中で旅立ちました。

16歳8か月でした。最後の1か月間は十分苦しませてしまい、また美味しくないエサを与え続けた事への後悔の念が消えません。闘病生活中はやつれてしまい体重も1.5kgに迄減ってしまいました。亡骸はとても安らかで数年若く元気に見え、今にも起き上がりそうでした。本当に最後まで辛い治療をさせて良かったのか？今でも考えてしまいます。最近ようやく悲しみも癒えてきました。私自身もこれからの事、老後や終活も考えて行かなければならない歳になってきましたが、思うだけで何もできません。今度は猫も良いなあと思いますが、当分は考え無い事にします。

泉水 栄二 記

空家の充てん容器は必ず撤去しましょう！